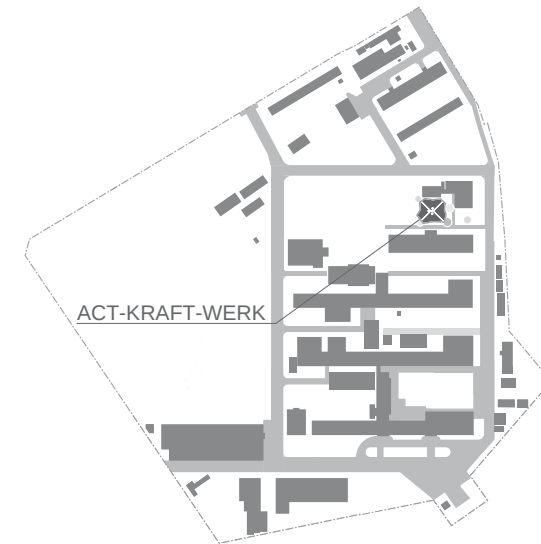
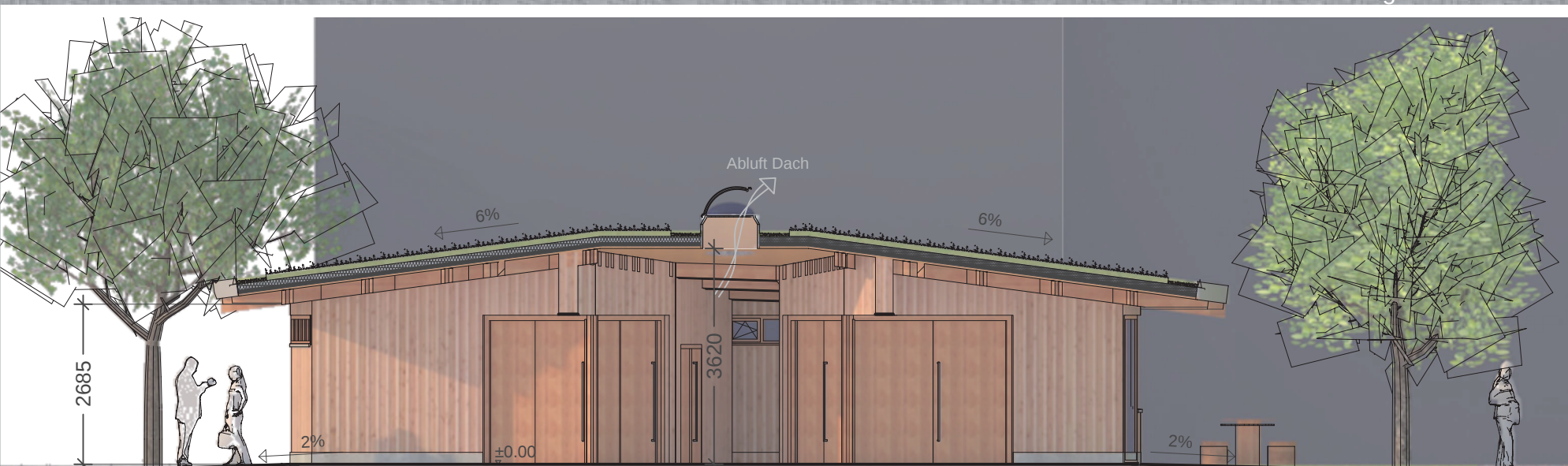
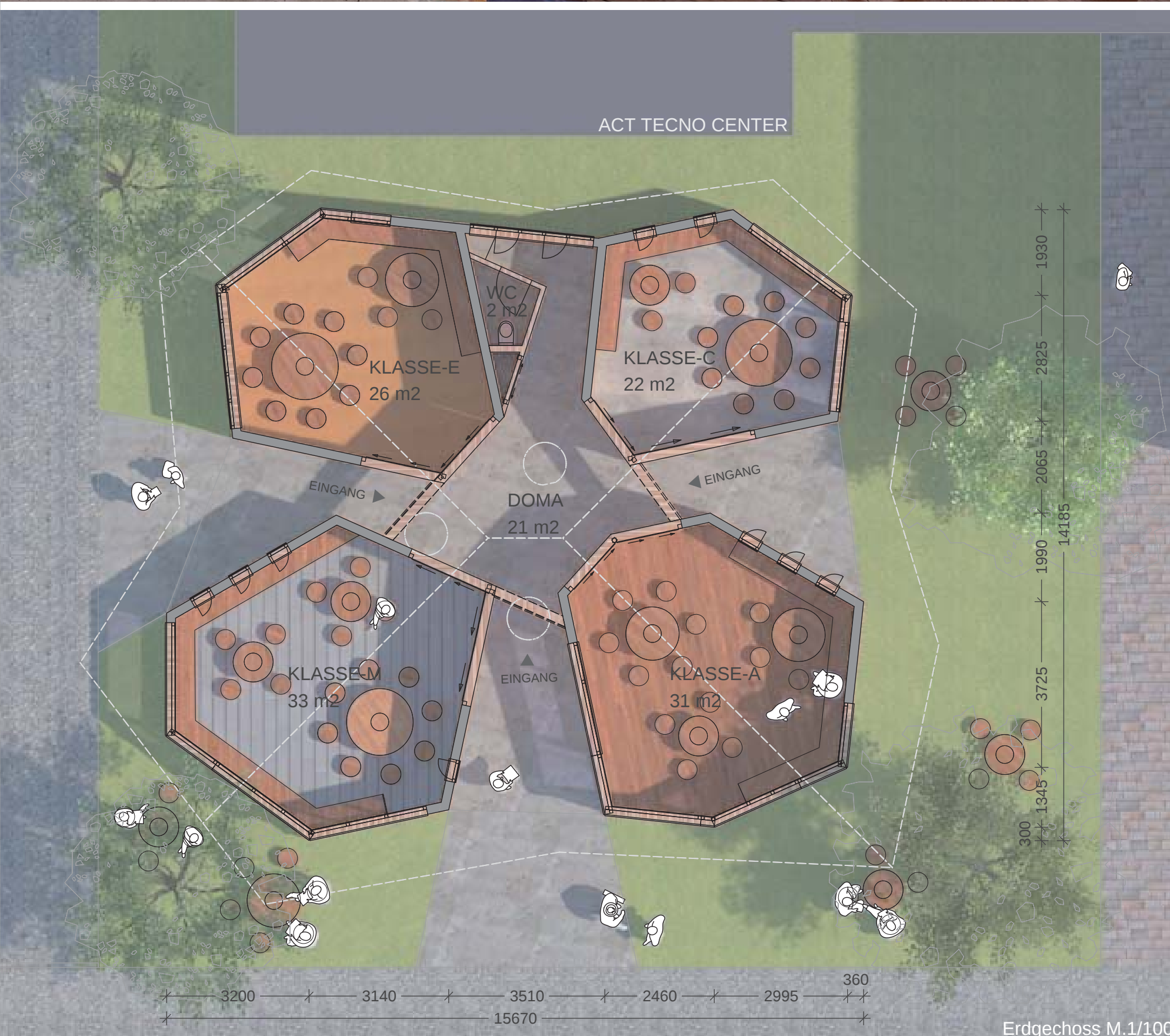
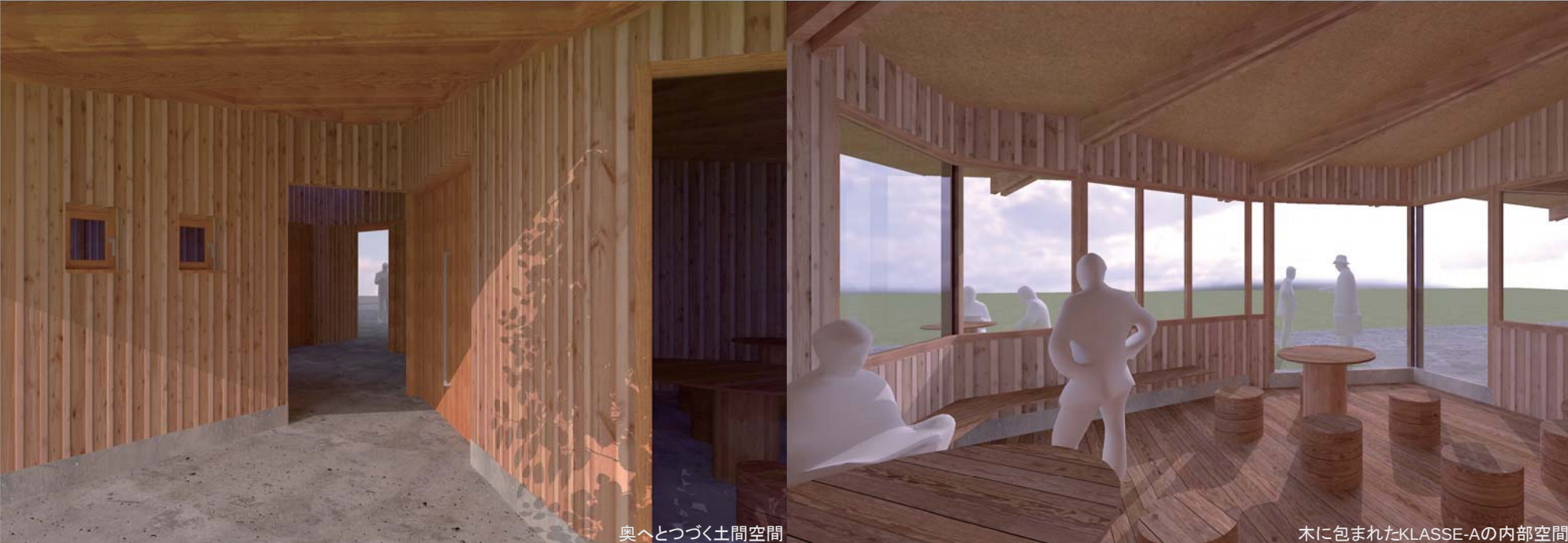




ACT-KRAFT-WERK

学生は、美しい花を咲かせることのできる種子である。

計画対象地である明石高専は、若年から高度な専門教育を受けることのできる教育機関であり、国内のみならず、海外からの高い評価を得るほど、優秀な学生が多く存在している。

一方で、実践的な教育として、学生の体験できうる実習が数多く存在するが、それらの講義・実習がどのように実務へと結びついているか不透明であるといった課題がある。

そこで、建築学科のみならず、M-E-C-Aが共同で活用できるようなシェアオフィスのような空間を提案します。ここでは、学生のみならず若手の高専卒の企業家が集い、学科の枠を超えながら、アイデアを出し合い、実践的な社会参加を促す場である。また、学生は若手の企業家と共同しあいながら、「学生自身の進むべき道」・「将来を描くための足掛かり」となる。

そうすることで、4つの種子を持つ建築の中で、学生が美しい花を咲かせることができると考えている。

